

実施日：令和7年3月18日（金）

学校法人 後藤学園 智泉福祉製菓専門学校

令和6年度 自己点検・自己評価表

評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

適切4 ほぼ適切3 やや適切2 不適切1

評価項目	評価
・学校の理念、目的、育成人材像が定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
・学校における職業教育の特色は何か	4
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想が抱いているか	4
・学校の理念、目的、育成人材、特色、将来構想などが学生、保護者等に周知されているか	4
・各学科の教育目標、育成人材像は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

(2) 学校運営

適切4 ほぼ適切3 やや適切2 不適切1

評価項目	評価
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
・運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
・人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
・教務、財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	4
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

(3) 教育活動

適切4 ほぼ適切3 やや適切2 不適切1

評価項目	評価
・教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方針等が策定されているか	4
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
・キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫、開発などが実施されているか	4
・関連分野の企業、関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が行われているか	4
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技、実習等）が体系的に位置づけられているか	4
・授業評価の実施、評価体制はあるか	3
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
・成績評価、単位認定、進級、卒業判定の基準は明確になっているか	4
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3

・職員の能力開発のための研修等が行われているか	3
-------------------------	---

(4) 学修成果

適切 4 ほぼ適切 3 やや適切 2 不適切 1

評価項目	評価
・就職率の向上が図られているか	4
・資格取得率の向上が図られているか	4
・退学率の低減が図られているか	4
・卒業生、在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

(5) 学生支援

適切 4 ほぼ適切 3 やや適切 2 不適切 1

評価項目	評価
・進路、就職に関する支援体制は整備されているか	4
・学生相談に関する体制が整備されているか	4
・学生に対する経済的な支援体制が整備されているか	3
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
・学生の生活環境への支援は行われているか	4
・保護者と適切に連携しているか	4
・卒業生への支援体制はあるか	4
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
・高校、高騰専修学校との連携によるキャリア教育、職業教育の取り組みが行われているか	3

(6) 教育環境

適切 4 ほぼ適切 3 やや適切 2 不適切 1

評価項目	評価
・施設、設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
・学内外の実習施設、インターンシップについて十分な教育体制を整備しているか	4
・防災に対する体制は整備されているか	4

(7) 学生の受け入れ募集

適切 4 ほぼ適切 3 やや適切 2 不適切 1

評価項目	評価
・学生募集活動は、適切に行われているか	4
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
・学納金は妥当なものとなっているか	4

(8) 財務

適切 4 ほぼ適切 3 やや適切 2 不適切 1

評価項目	評価
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
・財務について会計監査が適切に行われているか	4
・財政情報公開の体制整備はできているか	4

(9) 法令等の遵守

適切 4 ほぼ適切 3 やや適切 2 不適切 1

評価項目	評価
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
・個人情報に際し、その保護のための対策がとられているか	4
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3
・自己評価結果を公開しているか	4

(10) 社会貢献・地域貢献

適切 4 ほぼ適切 3 やや適切 2 不適切 1

評価項目	評価
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献、地域貢献を行っているか	4
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
・地域に対する公開講座、教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4

《介護福祉士学科 課題》

- ・国家資格を持って就職することの重要性を伝える必要がある
- ・国家試験合格率100%を継続する必要がある
- ・入学者数の増加につながる情報発信が必要である

《今後の改善方策》

- ・SNS等の活用を継続的に行い、継続的魅力発信と出前授業や個別の対応で積極的な展開をしていく
- ・早い段階から、一人ひとりの学生とのコミュニケーションを(学習習慣や苦手科目の把握等)を図り、個別指導に活かす
- ・オープンキャンパスに参加しやすいテーマの提案や、参加者のニーズに応える個別対応など丁寧な対応や魅力的な企画・運営につなげる

《製菓製パン学科 課題》

- ・継続的に国家試験合格率100%を達成するために対策講義、教材等の工夫が必要である
- ・受験年度生のオープンキャンパスへの参加率を上げていく更なる工夫が必要である
- ・新規の就職先及び実習先の開拓が必要である

《今後の改善方策》

- ・オープンキャンパスに参加をしてくれた受験年度生は、リピーターであるほど受験率が高くなる傾向にあり、体験授業の充実、専門学校でしか学べない最新の技術を伝え、質の向上を一層図る
また、通常の講義の様子などをSNS等で発信を常に行い、学生の現状を積極的に伝える
- ・国家試験合格率100%を達成するために、学科独自の対策の工夫改善を図る
また、個別の学力にあわせた指導を早い段階でスタートさせ基礎学力の定着を図る
- ・洋菓子・和菓子・製パン分野だけでなく、将来カフェの経営を目標にしている学生がおり、経営感覚を身につけさせる学びや経験も必要である

令和6年度 学校関係者評価報告書

学校法人後藤学園 智泉福祉製菓専門学校は、令和5度の自己点検・評価結果に基づき、学校関係者評価委員会にて学校関係者評価を実施いたしましたので、以下のとおり報告いたします。

1. 実施日時 令和7年5月27日 9:30~14:30

2. 出席者

区分	所属
評価委員	介護福祉代表
評価委員	製菓代表

3. 判定基準

適切：4	適切になされており、特に解決すべき課題はない
ほぼ適切：3	現時点で早急に解決すべき課題はないが、状況把握が必要
やや不適：2	状況把握を行い、解決に向けた取組みが必要
不適：1	早急に解決すべき課題である

4. 学校関係者評価の留意点

- 1) 自己点検・評価結果が適切かどうか。
- 2) 課題の解決や改善に向けた取組みが適切かどうか。

5. 学校関係者評価結果

(1) 教育理念・目標

適切4 ほぼ適切3 やや適切2 不適切1

評価項目	自己点検・評価	学校関係者評価
・学校の理念、目的、育成人材像が定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4	4
・学校における職業教育の特色は何か	4	4
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想が抱いているか	4	4
・学校の理念、目的、育成人材、特色、将来構想などが学生、保護者等に周知されているか	4	4
・各学科の教育目標、育成人材像は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	4

(2) 学校運営

適切4 ほぼ適切3 やや適切2 不適切1

評価項目	自己点検・評価	学校関係者評価
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	4
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	4
・運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	4

・人事、給与に関する規定等は整備されているか	4	4
・教務、財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	4	4
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	4
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	4
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3	3

(3) 教育活動

適切4 ほぼ適切3 やや適切2 不適切1

評価項目	自己点 検・評価	学校関係 者評価
・教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方針等が策定されているか	4	4
・教育理念、育人人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	4
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	4
・キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫、開発などが実施されているか	4	4
・関連分野の企業、関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が行われているか	4	4
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技、実習等）が体系的に位置づけられているか	4	4
・授業評価の実施、評価体制はあるか	3	3
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	4
・成績評価、単位認定、進級、卒業判定の基準は明確になっているか	4	4
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	4
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	4
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3	3
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	3	3

(4) 学修成果

適切4 ほぼ適切3 やや適切2 不適切1

評価項目	自己点 検・評価	学校関係 者評価
・就職率の向上が図られているか	4	4
・資格取得率の向上が図られているか	4	4
・退学率の低減が図られているか	4	4
・卒業生、在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	3
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3	3

(5) 学生支援

適切4 ほぼ適切3 やや適切2 不適切1

評価項目	自己点 検・評価	学校関係 者評価
・進路、就職に関する支援体制は整備されているか	4	4
・学生相談に関する体制が整備されているか	4	4
・学生に対する経済的な支援体制が整備されているか	3	3
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	4

・学生の生活環境への支援は行われているか	4	4
・保護者と適切に連携しているか	4	4
・卒業生への支援体制はあるか	4	4
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	4
・高校、高騰専修学校との連携によるキャリア教育、職業教育の取り組みが行われているか	3	3

(6) 教育環境

適切 4 ほぼ適切 3 やや適切 2 不適切 1

評価項目	自己点 検・評価	学校関係 者評価
・施設、設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	4
・学内外の実習施設、インターンシップについて十分な教育体制を整備しているか	4	4
・防災に対する体制は整備されているか	4	4

(7) 学生の受け入れ募集

適切 4 ほぼ適切 3 やや適切 2 不適切 1

評価項目	自己点 検・評価	学校関係 者評価
・学生募集活動は、適切に行われているか	4	4
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	4
・学納金は妥当なものとなっているか	4	4

(8) 財務

適切 4 ほぼ適切 3 やや適切 2 不適切 1

評価項目	自己点 検・評価	学校関係 者評価
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	4
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	4
・財務について会計監査が適切に行われているか	4	4
・財政情報公開の体制整備はできているか	4	4

(9) 法令等の遵守

適切 4 ほぼ適切 3 やや適切 2 不適切 1

評価項目	自己点 検・評価	学校関係 者評価
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	4
・個人情報に際し、その保護のための対策がとられているか	4	4
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3	3
・自己評価結果を公開しているか	3	3

(10) 社会貢献・地域貢献

適切4 ほぼ適切3 やや適切2 不適切1

評価項目	自己点 検・評価	学校関係 者評価
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献、地域貢献を行っているか	4	4
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	4
・地域に対する公開講座、教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	4